

平成 26 年度 指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間:平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日

施設名	大和市柳橋ふれあいプラザ
指定管理者	株式会社オーエンス 代表取締役 大木 一雄
指定期間	平成 23 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

1. 事業報告概要

【業務実施状況】

・施設の総括管理

開館状況：毎週月曜日、月曜日が国民の祝日に関する法律に規定する休日に当たるときは、当該日の直後の休日でない日、大和市民まつりの日、年末年始(12月29日～1月3日)及び施設点検日を除く毎日。

開館日数：305日（平成25年度開館日数300日：荒天による臨時休館4日）
午前10時～午後9時まで開館。

・施設使用受付

年間使用者数

総使用者数	65,283人
浴室使用者数	43,058人

・使用者へのサービス

日除け用のゴーヤ棚及び風鈴設置、各浴室・檜風呂脱衣所にすだれ設置、各脱衣所の足ふきマット及びドライヤー交換設置、手指消毒用アルコール設置、加湿器設置、老眼鏡設置、携帯カレンダー製作、持ち帰り用バス時刻表（コミュニティバス・路線バス）製作、傘の貸し出し、自転車空気入れの貸し出し、浴室鍵ゴム交換など。

・施設の補修、改善

岩風呂浴室引き戸指挟み防止ストッパー取付け、サウナ照明スイッチ修理、男女トイレ扉鍵修理、各風呂ロッカー蝶番不具合調整及び交換など。

・事業の実施

事業名	開催日時	参加者数
クラフト ～エコ布ぞうり作り～	4月19日(土)10時～12時	10人
	4月26日(土)10時～12時	9人
落語会	5月17日(土)14時～16時	70人
	10月25日(土)14時～16時15分	41人
映画会	6月22日(日)14時～16時	49人
料理教室	7月16日(水)10時30分～13時	10人
	11月19日(水)10時30分～13時30分	9人
子ども映画まつり	8月23日(土)11時～12時30分	36人
	〃 14時～16時	15人

事業名	開催日時	参加者数
秋まつり	9月21日(日)11時～16時	290人
カラオケ発表会	12月6日(土)12時～16時	63人
囃子獅子舞	1月17日(土)15時～16時30分	87人
将棋大会	2月22日(日)10時30分～15時30分	41人
囲碁大会	3月22日(日)10時30分～16時15分	36人
感謝デー	3月29日(日)11時～15時30分	166人

【事業実施状況に関する補足説明】

- ・使用者総数は、平成25年度に比べ1,269人(約2.0%)増加しました。
新規に利用者カードを作成した人数は平成25年度が389人、平成26年度が403人で微増となっています。
- ・浴室の利用者数は、平成25年度に比べ市内使用者が1,893人増加し、市外使用者は20人減少したことから、1,873人(約4.5%)増加しました。1日あたりの平均利用者数は141人と平成25年度の137人に比べ4人増加しました。
浴室の使用料収入は1,734,900円となり、平成25年度の1,582,750円に比べ、152,150円の増収となりました。
- ・会議室等の利用者数は、平成25年度に比べ356人(約4.2%)減少しましたが、使用件数については、18件増加しました。特に自主事業参加者の合計人数が932人と、平成25年度に比べ68人増加しました。中でも秋まつりでは、多くの家族連れや子どもたちが訪れ、昨年にも増して参加者が集まりました。
会議室の使用料収入は400,500円となり、平成25年度の366,925円に比べ33,575円増収となりました。
- ・使用料収入総額は2,135,400円となり平成25年度の1,949,675円に比べ185,725円の増収となりました。なお、この使用料収入は市の収入になります。

2. 収支決算概要

(単位：円)

収 入		支 出	
指定管理料 (市が指定管理者に支払った金額)	13,970,000	人件費 (指定管理者が雇用した社員の給料、諸手当、福利厚生費等の金額)	11,975,603
その他 (マッサージ機利用による収入)	7,200	施設管理費等 (施設の清掃や、保守点検、修繕に支出した金額)	1,809,125
収入計 (①)	13,977,200	支出計 (②)	13,784,728

収支決算(①－②)	192,472
-----------	---------

【収支決算に関する補足説明】

- ・収入については、マッサージ機利用料が前年に比べ12,350円減少しました。
- ・支出については、前年に比べ290,776円増加しました。主な理由は、人件費の増加です。

3. 管理運営に対する評価等

指定管理者の管理運営に対する市の評価は次のとおりです。

評価にあたっては、平成27年7月9日に大和市環境審議会からの意見聴取を行いました。

評価の視点1:施設を使用する者に対し、平等な使用の確保及びサービスの向上が図られたか

【管理運営に対する評価】

- ・施設の使用許可事務については、書類審査の結果、条例等に則り適切に行われていることが確認できました。
- ・自主事業については、「映画会」「秋まつり」「落語会」「囃子獅子舞」「将棋大会」「囲碁大会」など、子どもから高齢者までが楽しめる事業に取り組んでいる。また、広報周知にあつては、施設の窓を利用した掲示や広報やまとの掲載をはじめポスターとチラシを周辺の学習センター、コミュニティセンター、引地台温水プールへ掲示等、積極的に取り組んでいる。
- ・館内設置のトレーニング器具等について、初めての方でも分かり易い写真入りの取り扱い表示をするなどの対応を図っている。
- ・駅から離れた施設への利用について、最寄バス停の地図の掲示、持ち帰り可能な時刻表の作成やタクシー会社の電話番号一覧掲示等を行っている。
- ・各事業ごとに参加者へのアンケートを実施し、その内容を事業に積極的に取り入れるなどサービスの向上に努めている。

評価の視点2:施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか

【管理運営に対する評価】

- ・「落語会」「映画会」「カラオケ発表会」「囃子獅子舞」は前年に続き好評で、参加者も増加しており、恒例行事として定着している。
- ・子どもや親子で参加出来る新規事業として、「夏休みだよ！！映画まつり」を実施し、会場にもキッズスペースを設置するなど親子で楽しめる取り組みがされている。
- ・「落語会」は定着しており、観客が楽しむだけではなく、演者側も常に新しい演目に挑戦し練習を積み重ねる機会とするなど、両者の励みの場となっている。
- ・「秋まつり」では、多くの人に参加し全てのコーナーに行列が出来、中でもアンケート結果で1番の人気となった射的コーナーは行列が途絶えることがないほど、大人も子供も楽しめ、家族で参加できる事業となっている。
- ・ごみ処理施設に併設されている施設として、古着や古布を使用する「エコ布ぞうり作り」教室等、ごみの減量化や資源に係わる事業に取り組んでいる。
- ・調理実習室を利用した「料理教室」は毎回定員を上回る人気事業になっている。
- ・施設の設置目的を踏まえ、今後も市民の健康、福祉に貢献するコミュニティ施設としての事業運営に期待する。

評価の視点3:施設の適切な維持及び管理が図られたか

【管理運営に対する評価】

- ・施設の管理・保守点検等は仕様書に沿って適切に行われている。
- ・施設使用者の中で使用率の高い浴室について、水質検査等の衛生面の管理を適正におこなっている。
- ・ロッカーの蝶番不具合箇所調整及び交換修理等、不具合箇所の改修、改善に努めている。また、座布団カバー等の交換クリーニングなど衛生面にも努めている。
- ・節水・節電や資源の分別に取り組むとともに、利用者に対しても表示等で周知を図っている。

評価の視点4:施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか

【大和市環境審議会の意見】

- ・事業報告書の人員配置・研修において、検討とあるが、検討の結果どういったことをするようになったのか結果も報告をしてください。

【管理運営に対する評価】

- ・浴室利用者について、受付での声かけや掲示物などでの注意喚起やロビーに設置した血圧計の利用促進、浴室内での巡視に合わせた利用者への声掛けをするなど、利用者の安全確保に努めている。
- ・日赤救急法救急員や応急手当普及員などに認定された従業員を配置するとともに、認定資格の更新や新たに講習会や研修を適切におこなっている。また、毎月緊急呼び出しブザーや館内設置のAEDの点検を行い、事故や災害時に適切、迅速に対応できる体制に努めている。
- ・施設の管理運営を安定的に行う上で十分な財務状況と判断しています。また、指定管理者本社長経理部門の内部監査員による定期監査の実施など、適正な管理を行っている。